

「日本科学未来館と国立科学博物館見学」

桑田直宏

この4月23日～24日に東京へ出かけた。本当の目的はポールマッカートニー東京ドーム公演だったが、1人ということもあって、前から行きたいと思っていた施設を見学してきました。

ひとつは日本科学未来館である。お台場にある国立の科学博物館です。最先端の科学技術を学ぶことが出来るのだが、私の目当てはドームシアターだった。ここのプラネタリウムは大平さんのメガスターが使われていることで有名なのだ。投影恒星数560万個と言われる星空を自分の目で確かめたかったのだ。過去にも2度訪れたのだが、1度目は定休日、2度目は最終上映まで予約がいっぱいで入れなかった。

3度目の正直で出かけた今回は無事に11時30分の予約をゲットできた。ところが始まってみると、内容が「宇宙の誕生」となっていて、上映時間のほとんどはこの話で費やされ、エンディングの数分間だけメガスターの星空を見ることが出来た。確かにリアルで最新の機種の片鱗は見せてくれたが、残念なことに星数が少ない春の星空だったのだ。あと少しで夏の天の川が地平線から現れるところで終わりとなってしまった。上映スケジュールをよく見ると1日に1回だけメガスターの星空を見ることが出来るプログラムがあることが分かったが、「後の祭り」である。

翌日は国立科学博物館に足を運んだ。前日に未来館の最新展示を見てしまうと、ここの常設展示の古さは否めない。良かったことは、昔の天文ガイドや本でよく見た20センチ屈折望遠鏡が展示されていたこと。いかにも望遠鏡らしいたたずまいがいい。資料によるとニコンが1931年に製作した初めての国産望遠鏡となっていた。

最近は何のせいなのか、懐古趣味的な傾向が自分にある。ポールが歌う50年前のビートルズナンバーに感動し、昔の物や若い時に見たものがないなと思うようになってきているのだ